

学科名	ファッション・ビジネス学科				コース名	ビジネスコース						
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期	○	後期	
講座コード	授業科目名							授業時間数		単位数		
B101	マーケティング							30		2		
担当教員	森 紀里那				科目区分	講義	○	演習		実習		
実務経験のある教員等による授業科目		○	アパレルブランドのデザイナーとして、現役でキャリアを重ね商品企画から生地企画やMD業務まで従事する。今現在の以上のリアルな流れを直に伝える。長年の経験からマーケティング戦略の知識と、デザイナー目線のトレンドキャッチ力を活かした授業の指導を行う。									
講義目的												
マーケティングの基礎理論を学び、市場調査を通してアパレル業界のシーズンサイクルを理解し、店頭での商品動向と販売戦略を捉える。												
授業内容												
自己分析の結果をマップに表現し、プレゼンテーションを通して第三者に伝える練習をする。 マーケティングの基礎を学び、シーズンサイクルを理解する。 市場調査手法を学び、実際にリサーチへ行く。店舗戦略の考察をし、結果を報告マップにまとめる。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容				学習課題						
1	2	マーケティング概論 ・ 自己分析方法				マーケティングの目的について解説						
2	2	自己分析				自己紹介を兼ねたマイプロフィールマップ作成						
3	2	マイプロフィール・プレゼンテーション				マップ完成後、練習、プレゼンテーション						
4	2	ブランドの基礎知識				ブランドとは・コンセプト、ターゲット設定						
5	2	ブランドの基礎知識				分類方法、用語解説						
6	2	マーケティングの基礎知識				マーケティング基礎、3C、4Pについて解説						
7	2	シーズンサイクルの理解1				シーズンサイクルについて解説						
8	2	シーズンサイクルの理解2				7営業期分のコーディネート切り抜き収集						
9	2	シーズンサイクルの理解3				7営業期分のコーディネート切り抜き収集						
10	2	シーズンサイクルの理解4				シーズンサイクルマップ作成						
11	2	シーズンサイクルの理解5				シーズンサイクルマップ作成						
12	2	シーズンサイクルの理解6				マップ完成、テスト						
13	2	市場調査の基礎知識				店頭調査方法解説、調査SHOPの検討						
14	2	9月市場リサーチ				メモの取り方、ルール確認後リサーチ						
15	2	9月報告マップ作成				9月度マップ作成						
留意事項												
日常的にウィンドウショッピングを行い、サービスを提供するショップ側の視点を養う。												
教材												
文化服装学院編「文化ファッション大系 服飾関連専門講座 12 ファッションビジネス」(文化出版局 2019年)												
最終到達目標			学習法				評価方法及び評価割合					
マーケティングの基礎を理解し、アパレル市場におけるシーズンサイクルがわかる。			講義 課題作成 プレゼンテーション 校外学習				筆記テスト		40%			
							課題提出		40%			
							プレゼンテーション		20%			

学科名	ファッション・ビジネス学科				コース名	ビジネスコース						
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名							授業時間数		単位数		
B101	マーケティング							30		2		
担当教員	森 紀里那				科目区分	講義	○	演習		実習		
実務経験のある教員等による授業科目		○	アパレルブランドのデザイナーとして、現役でキャリアを重ね商品企画から生地企画やMD業務まで従事する。今現在の以上のリアルな流れを直に伝える。長年の経験からマーケティング戦略の知識と、デザイナー目線のトレンドキャッチ力を活かした授業の指導を行う。									
講義目的												
マーケティングの基礎を学び、市場調査の手法を理解し、実践する。 グループディスカッションを通して対話力、プレゼンテーション能力を身につける。												
授業内容												
マーケティングの基礎知識を学ぶ。9月、10月、11月に実際の店頭で足を運び、マーケティング4P、シーズンサイクルに基づき店頭の調査を行い、分析・発表する。競合店リサーチ方法を学び、調査結果を比較シートにまとめることで、売り上げが伸びている他店の強みを自店に取り入れる為の分析方法を理解する。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容				学習課題						
1	2	グループディスカッション				9月の結果をクラスター別にディスカッション						
2	2	プレゼンテーション				グループディスカッションでまとめた内容を発表						
3	2	10月市場リサーチ				前回の反省後、定点観測店の最新情報調査						
4	2	10月報告MAP作成				10月度マップ作成						
5	2	グループディスカッション				10月の結果をクラスター別にディスカッション						
6	2	検定対策				ファッション販売能力検定試験 3級の不明用語調べ						
7	2	検定対策				ファッション販売能力検定試験 3級の模擬試験						
8	2	11月市場リサーチ				前回の反省後、定点観測店の最新情報調査						
9	2	11月報告MAP作成				11月度マップ作成						
10	2	グループディスカッション				11月の結果をクラスター別にディスカッション						
11	2	プレゼンテーション				グループディスカッションでまとめた内容を発表						
12	2	競合店調査				競合店調査方法の講義、調査は宿題へ。						
13	2	競合店調査結果シート作成				競合店調査結果をシートにまとめる→提出						
14	2	テスト				後期テスト						
15	2	まとめ				テストの返却と答え合わせ、まとめと総評						
留意事項												
日常的にウィンドウショッピングを行い、サービスを提供するショップ側の視点を養う。												
教材												
文化服装学院編「文化ファッション大系 服飾関連専門講座 12 ファッションビジネス」(文化出版局 2019年)												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
マーケティングの基礎とシーズンサイクルを理解する。 市場調査の手法を知り、実践し、その結果を第三者に伝える事が出来る。				講義 課題作成 プレゼンテーション 校外学習				筆記テスト		40%		
								課題提出		40%		
								プレゼンテーション		20%		

学科名	ファッションビジネス学科				コース名	ビジネスコース						
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期	○	後期	
講座コード	授業科目名							授業時間数		単位数		
B102	ビジネススキル							45		3		
担当教員	高柿 幸江				科目区分	講義	○	演習		実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	大手アパレル企業で店長を経て、バイヤー・小物企画を歴任。国内外の展示会にて、商品の仕入調達や売場運営管理に精通。その後、新店舗内装やVMD・SVに従事する。授業では、販売員の業務内容や数値管理、商品仕入計画などの指導を行う。										
講義目的												
広範囲にわたるファッションビジネスの歴史と基礎を理解する。												
授業内容												
前期は小売店舗を中心とした、ファッションビジネスについて素材産業からメーカー、セレクトショップまでの領域を学習し、後期は売場の基礎計数を学習する。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容				学習課題						
1	3	ファッションビジネス知識				オリエンテーション/ファッション特性とトレンド						
2	3	ビジネス計数知識				数字記入の基本的ルール						
3	3	ファッションビジネス知識				ファッションビジネスの特徴と求められる資質						
4	3	ビジネス計数知識				電卓の使用方法、OFF 価格の出し方						
5	3	ファッションビジネス知識				消費者：分類、問題、行動						
6	3	ビジネス計数知識				売上高の構造分解（売上・客数・客単）						
7	3	ファッションビジネス知識				消費者：分類、問題、行動						
8	3	ビジネス計数知識				売上高の構造分解（売上・客数・客単）						
9	3	ファッションビジネス知識				ファッションビジネスの変遷						
10	3	ビジネス計数知識				前年比、達成率						
11	3	ファッションビジネス知識				ファッションビジネスの変遷						
12	3	ビジネス計数知識				前年比、達成率						
13	3	ファッションビジネス知識				ファッションビジネスの変遷						
14	3	ファッションビジネス知識/ビジネス計数知識				総合テスト						
15	3	ファッションビジネス知識/ビジネス計数知識				テスト返却、フィードバック						
留意事項												
自分の興味のある業種業態だけではなく、あらゆる小売店舗やWEBサイトを含む業界全体に普段から興味を持つこと。												
教材												
文化服装学院編「文化ファッション大系 服飾関連専門講座 12 ファッションビジネス」（文化出版局 2019年）												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
前期、アパレル業界を広く知る。 後期、最低限の計数知識を身につける。				講義 テスト				筆記テスト		80%		
								習熟度（到達目標に対して）		20%		

学科名	ファッションビジネス学科				コース名			ビジネスコース			
分類	必修	○	選択	配当学年		1	年	学期	前期	後期	○
講座コード	授業科目名							授業時間数		単位数	
B102	ビジネススキル							15		1	
担当教員	高柿 幸江				科目区分	講義	○	演習		実習	
実務経験のある教員等による授業科目	○	大手アパレル企業で店長を経て、バイヤー・小物企画を歴任。国内外の展示会にて、商品の仕入調達や売場運営管理に精通。その後、新店舗内装やVMD・SVに従事する。授業では、販売員の業務内容や数値管理、商品仕入計画などの指導を行う。									
講義目的											
広範囲にわたるファッションビジネスの歴史と基礎を知り、日々の勉強に役立てる。											
授業内容											
前期は小売店舗を中心とした、ファッションビジネスについて素材産業からメーカー、セレクトショップまでの領域を学習し、後期は売場の基礎計数を学習する。											
授業計画及び学習課題											
項目	回数	内容					学習課題				
1	1	ビジネス計数知識					アイテム構成比				
2	1	ファッションビジネス知識					産業構造、流通、生産、職種				
3	1	ビジネス計数知識					月初在庫、月末在庫				
4	1	ファッションビジネス知識					産業構造、流通、生産、職種				
5	1	ビジネス計数知識					月初在庫、月末在庫				
6	1	ファッションビジネス知識					経営と情報活用				
7	1	ビジネス計数知識					仕入原価、値入高、原価率				
8	1	ファッションビジネス知識					時事ワード				
9	1	ビジネス計数知識					仕入原価、値入高、原価率				
10	1	ファッションビジネス知識					世界の企業				
11	1	ビジネス計数知識					粗利益高、粗利益率				
12	1	ファッションビジネス知識					メール文作成				
13	1	ビジネス計数知識					粗利益高、粗利益率				
14	1	ファッションビジネス知識/ビジネス計数知識					総合テスト				
15	1	ファッションビジネス知識/ビジネス計数知識					テスト返却/フィードバック				
留意事項											
数値に苦手意識を持たず、積極的に取り組む。											
教材											
文化服装学院編「文化ファッション大系 服飾関連専門講座 12 ファッションビジネス」(文化出版局 2019年)											
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合			
前期、アパレル業界を広く知る。 後期、最低限の計数知識を身につける。				講義 テスト				筆記テスト		80%	
								習熟度(到達目標に対して)		20%	

学科名	ファッションビジネス学科				コース名	ビジネスコース						
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期	○	後期	
講座コード	授業科目名							授業時間数		単位数		
B103	セールスワーク I							45		3		
担当教員	益岡 流南				科目区分		講義	○	演習		実習	
実務経験のある教員等による授業科目	○	アパレル SPA 企業で販売員としてキャリアをスタート。ヤングレディースアパレルの 2 店舗で店長を務めた。授業では販売から品揃え、レイアウトまでアパレルショップの運営全般と職務姿勢などを幅広く指導する										
講義目的												
ファッション販売の基礎を身につけ、就職時に即戦力として社会に出る。												
授業内容												
ファッション販売に必要な、敬語・謙譲語・尊敬語等の言葉遣いと基本動作・商品説明を学び、SHOPに見立てた教室を使用し、ロールプレイングで実践練習を積み、会話力と接客力を身につける。販売員の業務内容（おたみ・動的待機・日報・棚卸・会計方法・検品など）を学習し、インターンシップ時に販売員として働くための基礎的な知識を身につける。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	3	接客～ロールプレイングとは					授業内容説明、ロールプレイングコンテスト DVD 鑑賞後、目指すファッションアドバイザーについて考える					
2	3	コミュニケーションと基本マナー					販売員の一日の流れ、お客様との接し方、接客 7 大用語唱和練習、挨拶練習					
3	3	美しい言葉遣い、敬語					敬語・言葉遣いについて解説、クッション言葉解説					
4	3	基本動作					おたみ練習、クリネスについて解説、動的待機練習、商品の扱い方解説、一連の基本動作復習、ロープレ形式で練習					
5	3	購買心理					購買心理解説					
6	3	アプローチ					ファースト&セカンドアプローチ練習					
7	3	試着の仕方					試着の解説(アウター、トップス、ボトムス、靴)、試着のロープレ練習					
8	3	会計の仕方					会計、見送りの解説、ロープレ練習					
9	3	ニーズの聞き出し					ニーズの聞き出し会話トレーニング(褒め言葉、日常会話)、シーン別「旅行」「パーティー」「デート」に即した質問					
10	3	セールストーク					セールストークについて解説、セールスポイントを見つける練習、セールストーク部分ロープレ練習					
11	3	コーディネート提案					コーディネート提案解説、練習、応酬話法について解説、練習、応酬話法を使ったコーディネート提案トーク練習					
12	3	ロープレテスト練習					入店～試着お見送りロープレ練習					
13	3	テスト①					前期末テスト→ロープレ練習					
14	3	テスト②					ロープレテスト(入店～試着、お見送り)					
15	3	テスト返却・販売業務事務管理					テストフィードバック・商品管理(検品、伝票の書き方)					
留意事項												
日常的にショップへ足を運び積極的に接客を受ける。												
教材												
文化服装学院編「文化ファッション大系 服飾関連専門講座 12 ファッションビジネス」(文化出版局 2019 年) 一般財団法人日本ファッション教育振興協会編「ファッション販売能力検定試験 3 級公式テキスト」(一般財団法人日本ファッション教育振興協会 2018 年)												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
インターンシップに向けての基本的な販売知識の習得 ファッション販売能力検定試験 3 級取得を目標とする。				講義 演習				筆記テスト		30%		
								ロールプレイングテスト		40%		
								課題提出		30%		

学科名	ファッションビジネス学科				コース名	ビジネスコース						
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名							授業時間数		単位数		
B103	セールスワーク I							45		3		
担当教員	益岡 流南				科目区分	講義	○	演習		実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	アパレル SPA 企業で販売員としてキャリアをスタート。ヤングレディースアパレルの 2 店舗で店長を務めた。授業では販売から品揃え、レイアウトまでアパレルショップの運営全般と職務姿勢などを幅広く指導する										
講義目的												
ファッション販売の基礎を身につけ、就職時に即戦力として社会に出る。												
授業内容												
販売員の業務内容（おたみ・動的待機・日報・棚卸・会計方法・検品など）を学習し、販売員として働くための基礎的な販売知識を身につける。販売、商品、売り上げ事務、売り場管理等、販売管理業務を理解する。ロールプレイングコンテストへ向けた練習を繰り返し、コンテストへの挑戦。インターンシップで実践に役立てる。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容				学習課題						
1	3	販売実践①/販売業務①				ガイダンス/販売実務管理：日計表記入						
2	3	販売実践②/販売業務②				基本姿勢・言葉遣い/売り場管理						
3	3	販売実践③/販売業務③				ファーストアプローチ/売上、事務管理						
4	3	販売実践④/販売業務④				商品説明・商品の取り扱い方/店舗演出						
5	3	販売実践⑤/検定対策①				フィッティング・クロージング/F 販 3 級過去問						
6	3	販売実践⑥/検定対策②				お会計・お見送り/F 販 3 級過去問						
7	3	販売実践⑦/検定対策③				RPG 練習（流れ・挨拶）/F 販 3 級過去問						
8	3	販売実践⑧/販売業務⑤				RPG 練習/POP の役割と課題						
9	3	販売実践⑨/販売業務⑥				RPG コンテスト/ラッピング説明と課題						
10	3	販売実践⑩/販売業務⑦				ガイダンス/クレーム対応、シーン別ロープレ						
11	3	販売業務⑧				顧客管理・顧客づくりと顧客成長						
12	3	販売業務⑨				名刺交換・電話対応						
13	3	販売業務⑩				接客で使える英単語						
14	3	販売業務⑪				総合テスト						
15	3	販売業務⑫				テスト返却・フィードバック						
留意事項												
日常的にショップへ足を運び積極的に接客を受ける。												
教材												
文化服装学院編「文化ファッション大系 服飾関連専門講座 12 ファッションビジネス」（文化出版局 2019 年） 一般財団法人日本ファッション教育振興協会編「ファッション販売能力検定試験 3 級公式テキスト」（一般財団法人日本ファッション教育振興協会 2018 年）												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
ファッション販売能力検定 3 級の取得。ファッション販売の一連の流れを習得し、インターンシップに臨む。ロープレコンテストへ向けた練習を積み、販売員としての立ち居振る舞い、接客姿勢を身につける。				講義 演習				筆記テスト		30%		
								ロールプレイングテスト		40%		
								課題提出		30%		

学科名	ファッションビジネス学科				コース名			ビジネスコース				
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期	○	後期	
講座コード	授業科目名							授業時間数		単位数		
B105	コーディネート I							45		3		
担当教員	丸山 美幸				科目区分	講義	○	演習		実習		
実務経験のある教員等による授業科目		○	大手アパレルのチーフデザイナーとして、婦人服の複数ブランド担当をへて高級婦人服プリントの企画と配色に従事。市場調査や流行分析、ブランドの市場への定着に積極的に取り組む。授業では、コーディネートの基本を指導する。									
講義目的												
ファッション業界で働く為に必要な、TPOの理解とオケージョンに合うコーディネートを学ぶのが目的。												
授業内容												
企業実習に向けて、販売員に必要な、TPOに合ったコーディネート方法を学ぶ。第三者へ向けたアイテム提案をマップ作成により繰り返し行う事で、客観的視点でイメージに合うバランスの取れたコーディネートテクニックと骨格診断の基礎も理解する。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容				学習課題						
1	3	コーディネート概論				コーディネートの必要性と6つの方法解説						
2	3	コーディネート概論				TPO・オケージョン・テイストレベル・マインド年齢の解説						
3	3	冠婚葬祭の服選び				メンズ・レディスでの冠婚葬祭の服装ルール						
4	3	ポケットチーフの使い方・オケージョンMAP説明				ポケットチーフ折り方の演習・課題解説・ヘア・ヘアプラン作成						
5	3	オケージョンマップ作成				ターゲット調査プリント作成・画像収集						
6	3	オケージョンマップ作成				オケージョンMAP完成						
7	3	ルック&スタイル				スライドでの講義						
8	3	骨格診断説明①				骨格診断アドバイザー検定3級スライドでの講義						
9	3	骨格診断説明②				骨格診断アドバイザー検定3級スライドでの講義						
10	3	骨格診断MAP作成(自己)				3タイプ別コーディネート提案MAP説明						
11	3	骨格診断MAP作成				コーディネート提案MAP作成・完成						
12	3	骨格診断カルテについて説明(他者)				他者骨格診断カルテ作成・TPO・トレンド調査・画像収集						
13	3	骨格診断コーディネート提案(他者)				TPO/予算に合う提案MAP作成						
14	3	骨格診断コーディネート提案(他者)				MAP作成/完成/プレゼンテーション						
15	3	模擬テスト/WEB用写真撮影方法説明				骨格診断アドバイザー検定3級模擬テスト2パターン						
留意事項												
講義後、マップを作成する事で、第三者に対してのTPOに合ったコーディネートテクニックの理解を深める。色彩理論で習得した、カラーコーディネートや商品知識で学んだ知識も活用すること。												
教材												
文化服装学院編「文化ファッション大系 ファッション流通講座 7 コーディネートテクニック(演出編)」(文化出版局)「本当に似合う服に出会える魔法のルール」(西東社) 「新しいパーソナルカラーの教科書」(西東社) chrome book												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
接客に必要な、第三者へ向けてのコーディネートテクニックの理解。 骨格診断アドバイザー検定3級の取得。				講義 課題作成 テスト				WEBテスト		30%		
								課題提出		70%		

学科名	ファッションビジネス学科				コース名		ビジネスコース					
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名							授業時間数		単位数		
B105	コーディネート I							30		2		
担当教員	丸山 美幸				科目区分	講義	○	演習		実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○ 大手アパレルのチーフデザイナーとして、婦人服の複数ブランド担当をへて高級婦人服プリントの企画と配色に従事。市場調査や流行分析、ブランドの市場への定着に積極的に取り組む。授業では、コーディネートの基本を指導する。											
講義目的												
前期で学んだ、TPOの理解を基に、就職・企業実習に向けて、販売員に必要な第三者へ向けた的確なコーディネート提案をマスターすることが目的。												
授業内容												
イメージに合うアイテム選びを習得し、第三者を設定したMAP作成を行う事で、客観的視点でのイメージにあうバランスの取れたコーディネートテクニックを理解する。 また、顔形に合うアクセサリ選び、体型に合う服選び、パーソナルカラーの知識も理解する。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容				学習課題						
1	2	WEB掲載用のスタイリング撮影				アイテムアップ・前・後ろ・横の全身写真撮影・MAP作成						
2	2	ファッション感性8分類				ファッション感性8分類講義・背景画像収集						
3	2	ファッション感性8分類MAP作成				スタイリング画像・小物の収集・MAP作成						
4	2	ファッション感性8分類MAP作成				マップ構成/完成提出						
5	2	パーソナルカラー				パーソナルカラー実務検定3級スライドでの講義						
6	2	パーソナルカラー診断を取り入れたコーディネート提案				イエローベース/ブルーベースのトータルコーディネート提案						
7	2	パーソナルカラー診断を取り入れたコーディネート提案				グループに分かれて2タイプのスタイリング提案						
8	2	スタイリング撮影				撮影						
9	2	パーソナルカラー実務検定3級模擬テスト				テスト/スタイリングMAP作成&提出						
10	2	スカーフ・マフラーの巻き方				スライドで説明しながら実践・体型カバーの必要性PP						
11	2	体型カバーコーディネートテクニック				体型のタイプに視点を置いたコーディネート解説						
12	2	顔タイプ別アクセサリの選び方				スライドでの説明						
13	2	素材・カラーコーディネートテクニック				目線を誘導する為のカラー使いやイメージに合う素材使い解説						
14	2	就職活動におけるコーディネート				就職活動の為のコーディネート解説						
15	2	面接用コーディネート提案MAP作成				MAP作成、完成、提出						
留意事項												
アイテム画像印刷やタイトル文字入力は、マップ作成の授業までに各自で行う。トレンドは常にチェックすること等、授業時間外の取り組みも重要である。												
教材												
文化服装学院編「文化ファッション大系 ファッション流通講座 7 コーディネートテクニック（演出編）」（文化出版局）「本当に似合う服に出会える魔法のルール」（西東社） 「新しいパーソナルカラーの教科書」（西東社）chrome book												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
接客に必要な、第三者へ向けてのコーディネートテクニックの理解と予算に合ったコーディネート提案が出来るようになる事。パーソナルカラー実務検定3級の取得。				講義 課題作成				WEBテスト		30%		
								課題提出		70%		

学科名	ファッション・ビジネス学科				コース名	ビジネスコース						
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期	○	後期	
講座コード	授業科目名							授業時間数		単位数		
B106	商品知識							15		1		
担当教員	伊井 香代美				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	国内、および海外アパレルで商品企画、輸入卸販売等に従事。実務経験とブランド知識を生かし、授業では、商品知識の基礎を指導する。										
講義目的												
ファッション業界で必要となるファッションアイテムの基礎知識を習得する。												
授業内容												
アパレル商品をアイテム別に取り上げ、名称、シルエット、ディテールの知識を得る。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容				学習課題						
1	1	アパレル商品の総論				商品知識の必要性・ファッション用語の理解						
2	1	シルエットの名称				シルエットの理解と分類						
3	1	アパレル商品のサイズ表示				サイズ表示・読み方、外国のサイズ表示						
4	1	ワンピース分類				シルエット、着丈、名称の理解						
5	1	ワンピース分類				ワンピースの理解、商品説明						
6	1	スカート分類				シルエット、着丈、名称の理解						
7	1	スカート分類				スカートの名称、商品説明						
8	1	パンツ分類				シルエット、着丈、名称の理解						
9	1	パンツ分類				パンツの名称、商品説明						
10	1	デニムウェアの知識				デニムウェアの歴史						
11	1	デニムウェア分類				デニムウェアの種類						
12	1	シャツブラウス分類				シャツのシルエット、着丈、名称の理解						
13	1	シャツブラウス分類				シャツの理解、商品説明						
14	1	シャツブラウス分類				ブラウスのシルエット、着丈、名称の理解						
15	1	シャツブラウス分類				ブラウスの理解、商品説明						
留意事項												
アイテム知識（名称、ディテール、シルエット）を覚える事が条件であり、時間外の日常的なりサーチも重要である。欠席した場合は次回までに課題を終わらせておくこと。												
教材												
文化服装学院編「文化ファッション大系 ファッション流通講座5 コーディネートテクニク アパレル編1（商品知識）」（文化出版局）												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
アイテムやディテール知識を知る事で、アイテムを分類、特定することができる。またそのアイテムの起源を知ることによって衣服に対する造詣を深める。				講義 課題作成				出席及び 小テスト OR 課題提出		100%		

学科名	ファッション・ビジネス学科				コース名	ビジネスコース						
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名							授業時間数		単位数		
B106	商品知識							15		1		
担当教員	伊井 香代美				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	国内、および海外アパレルで商品企画、輸入卸販売等に従事。実務経験とブランド知識を生かし、授業では、商品知識の基礎を指導する。										
講義目的												
ファッション業界で必要となるファッションアイテムの基礎知識を習得する。												
授業内容												
アパレル商品をアイテム別に取り上げ、名称、シルエット、ディテールの知識を得る。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容				学習課題						
1	1	ディテール				ネックライン、袖、ポケットの名称						
2	1	ニット分類				ニットの名称、商品説明						
3	1	ニット分類				ニット特有のディテール						
4	1	ジャケット・スーツ分類				シルエット、着丈、名称の理解						
5	1	ジャケット・スーツ分類				ジャケット・スーツの名称、商品説明						
6	1	コート分類				シルエット、着丈、名称の理解						
7	1	コート分類				コートの名称、商品説明						
8	1	紳士服の分類				シルエット、着丈、名称の理解						
9	1	紳士服の分類				シルエット、着丈、名称の理解						
10	1	紳士服の分類				紳士服の名称、商品説明						
11	1	紳士服の分類				紳士服の名称、商品説明						
12	1	子供服				子供服の種類、名称、商品説明						
13	1	フォーマルウェアの知識				洋装のフォーマル、昼・夜のフォーマル						
14	1	フォーマルウェアの知識				洋装のフォーマル、昼・夜のフォーマル						
15	1	フォーマルウェアの知識				ブライダル、喪服						
留意事項												
アイテム知識（名称、ディテール、シルエット）を覚える事が条件であり、時間外の日常的なリサーチも重要である。欠席した場合は次回までに課題を終わらせておくこと。												
教材												
文化服装学院編「文化ファッション大系 ファッション流通講座5 コーディネートテクニク アパレル編1（商品知識）」（文化出版局）												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
アイテムやディテール知識を知る事で、アイテムを分類、特定することができる。またそのアイテムの起源を知ることによって衣服に対する造詣を深める。				講義 課題作成				出席及び小テスト OR 課題提出		100%		

学科名	ファッションビジネス学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期	○	後期	
講座コード	授業科目名							授業時間数		単位数		
B107	ファッションカラー							15		1		
担当教員	西山 マキ				科目区分	講義	○	演習		実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	チラシ・パンフレットの作成。カラーセラピーを通して舞台美術・衣裳のデザインや制作、カラーコーディネートを行っている。										
講義目的												
<ul style="list-style-type: none"> 色を細分化し具体的に学ぶことで、色の性質を学習する。 色彩学の基礎を習得し、活用する知識を身につける。 												
授業内容												
<ul style="list-style-type: none"> 色彩の働き、色の三属性、対比現象などを学習し、色の役割や効果を理解する。 カラーカードを活用したワークや課題制作で体験的に色を感じる能力を身につける。 												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	1	STEP1 色彩の役割①					・オリエン ・個人の表現など ・色相環貼付け					
2	1	STEP1 色彩の役割②					・時代の表現など ・明度彩度表貼り付け・色相環					
3	1	STEP2 色の表し方①					・色の三属性と分類 ・トーン表					
4	1	STEP2 色の表し方②					・色立体 ・トーンの明度 ・彩度貼付け					
5	1	STEP2 色の表し方③					・色相&トーンのイメージ					
6	1	照明と色の見え方					・光と色との関係 ・色名					
7	1	課題制作①					・アイテムの検索、収集 ・完成・提出					
8	1	課題制作②					・アイテムの検索、収集 ・完成・提出					
9	1	STEP3 色の見え方とイメージ①					・色の対比など					
10	1	STEP3 色の見え方とイメージ②					・色の同化現象など					
11	1	STEP3 色の見え方とイメージ③					・色の視認性など					
12	1	STEP3 色の見え方とイメージ④					・色のイメージ（色相）・心理的効果					
13	1	STEP3 色の見え方とイメージ⑤					・色のイメージ（トーン）・心理的効果					
14	1	STEP3 色の見え方とイメージ⑥					・色のイメージとカラー配色					
15	1	まとめ					・前期の復習					
留意事項												
<ul style="list-style-type: none"> 課題制作では動画を見ながら別端末での制作なのでスマートフォンやタブレット、パソコンを別で用意してください。無い場合は紙を用意して制作しても大丈夫です。 												
教材												
日本色研事業株式会社「ファッション&ビューティーの色彩」 新配色カード(199a)												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
ファッション業界に役立つ色彩効果をプランニングし活用できるようにする。				講義 テスト				テスト		100%		

学科名	ファッションビジネス学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名							授業時間数		単位数		
B107	ファッションカラー							15		1		
担当教員	西山 マキ				科目区分	講義	○	演習		実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	チラシ・パンフレットの作成。カラーセラピーを通して舞台美術・衣裳のデザインや制作、カラーコーディネートを行っている。										
講義目的												
<ul style="list-style-type: none"> ・色彩の役割と配色技法を理解し、プランニングに活用する。 ・パーソナルカラーや心理的効果を現場実習で活用する。 												
授業内容												
<ul style="list-style-type: none"> ・配色を中心とした色彩効果を、スタイリング分析で理解する。 ・パーソナルカラーや色の心理を通して、色彩の役割を学習する。 												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	1	STEP4 配色の基本①					・配色における色相の関係					
2	1	STEP4 配色の基本②					・配色におけるトーンの関係					
3	1	STEP4 配色の基本③					・配色と面積					
4	1	STEP4 配色の基本④					・ファッション配色技法 1					
5	1	STEP4 配色の基本⑤					・ファッション配色技法 2					
6	1	STEP4 配色の基本⑥					・ファッション配色技法 3					
7	1	STEP4 配色の基本⑦					・ファッション配色技法 4					
8	1	課題制作					・アイテムの検索、収集 ・完成・提出					
9	1	ファッショントレンド					・流行色 ・トレンドの流れ					
10	1	戦後のファッションと美容					・ファッションと美容の歴史					
11	1	パーソナルカラー①					・似合う色とは					
12	1	パーソナルカラー②					・フォーシーズン分類					
13	1	色彩心理					・色の心理効果、感情効果					
14	1	色の役割					・消費者が選択する色 ・生活と色彩					
15	1	まとめ					・1年間の総括					
留意事項												
課題制作では実際に自分が持っているアイテムを使用します。												
教材												
日本色研事業株式会社「ファッション&ビューティーの色彩」 新配色カード(199a)												
最終到達目標			学習法				評価方法及び評価割合					
配色技法や色彩の役割を学び、ファッションに活かしていく。 色彩検定3級合格を目指す。			講義 テスト				テスト		100%			

学科名	ファッションビジネス学科				コース名	ビジネスコース						
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期	○	後期	
講座コード	授業科目名							授業時間数		単位数		
B108	素材知識 I							15		1		
担当教員	丸山 美幸				科目区分	講義	○	演習		実習		
実務経験のある教員等による授業科目		○	大手アパレルのチーフデザイナーとして、婦人服の複数ブランドを担当をへて高級婦人服プリントの企画と配色に従事。市場調査や流行分析、ブランドの市場への定着に積極的に取り組む。授業では、素材の基礎知識を販売～企画に活かせるよう指導									
講義目的												
素材の成り立ちを理解し、服の基礎となる素材知識を習得する。 素材の特性を知り、ファッション販売～企画に必要な取り扱い説明が出来るようになる。												
授業内容												
素材の種類、糸、生地についての講義。 素材によるシルエットや着心地の変化、取り扱い方の違いを理解												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	1	オリエンテーション					カリキュラム説明、素材や生地について					
2	1	基本導入					生地の基本・繊維の分類					
3	1	天然繊維①					植物繊維					
4	1	天然繊維②					動物繊維					
5	1	化学繊維①					再生繊維					
6	1	化学繊維②					半合成繊維					
7	1	化学繊維③					合成繊維					
8	1	糸について①					糸の種類・紡績糸					
9	1	糸について②					糸の撚りや番手					
10	1	糸について③					複合糸・意匠糸					
11	1	織物について①					織物の3原組織					
12	1	織物について②					織物の変化組織、その他織物					
13	1	編物について①					編物の3原組織					
14	1	編物について②					その他の編み物組織					
15	1	復習テスト					前期復習					
留意事項												
講義で習った素材は触って覚えること。 素材感を実感する習慣をつける。 製品品質表示や下げラベルを意識して見ることを習慣づける												
教材												
文化服装学院編「文化ファッション大系 服飾関連専門講座1 改訂版・アパレル素材論」(文化服装学院) 関間正雄編「テキスタイル事典」(ナツメ社)												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
素材の特性を理解し、素材によるシルエットや着心地の変化、取り扱い方法について説明が出来るようになる。				講義 テスト				テスト		100%		

学科名	ファッションビジネス学科				コース名	ビジネスコース						
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名							授業時間数			単位数	
B108	素材知識 I							15			1	
担当教員	丸山 美幸				科目区分	講義	○	演習		実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	大手アパレルのチーフデザイナーとして、婦人服の複数ブランド担当をへて高級婦人服プリントの企画と配色に従事。市場調査や流行分析、ブランドの市場への定着に積極的に取り組む。授業では、コーディネートの基本を指導する。										
講義目的												
素材の成り立ちを理解し、服の基礎となる素材知識を習得する。 素材の特性を知り、ファッション販売～企画に必要な取り扱い説明が出来るようになる。												
授業内容												
素材の成り立ちを理解し、服の基礎となる素材知識を習得する。 素材の特性を知り、ファッション販売に必要な取り扱い説明が出来るようになる。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	2	復習ドリル					糸について、取り扱いについて復習ドリル					
2	2	織物について1					織物の3原組織について解説					
3	2	織物について2					織物の変化組織、その他織物について解説					
4	2	編物について1					編物の3原組織について解説					
5	2	編物について2					その他の編み物組織について解説					
6	2	復習ドリル					織物と編物について復習ドリル					
7	3	総復習ドリル					1年間の総復習ドリル					
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
留意事項												
講義で習った素材は触って覚えること。 素材感を実感する習慣をつける。 製品品質表示や下げラベルを意識して見ることを習慣づける。												
教材												
文化服装学院編「文化ファッション大系 服飾関連専門講座1 改訂版・アパレル素材論」(文化服装学院) 関間正雄編「テキスタイ事典」(ナツメ社)												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
素材の特性を理解し、素材によるシルエットや着心地の変化、取り扱い方法について説明が出来る。				講義 テスト				テスト		100%		

学科名	ファッションビジネス学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期	○	後期	
講座コード	授業科目名							授業時間数		単位数		
B109	ファッションドローイング							15		1		
担当教員	藤原 舞				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	レディースアパレルメーカー、OEM/ODM でデザイナーとして勤務した経験からアパレル業界で必要なドローイングテクニックを指導。										
講義目的												
ファッション業界で仕事をしていく上で必要となるデザイン画の表現方法を学ぶ。												
授業内容												
マップや企画書、SNS に活用できる、イラストレーション技術上達の為、ハンガーイラスト、スタイル画、着色表現方法。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	1	ドローイング概論 ハンガーイラスト					ハンガーイラスト下書き作成					
2	1	ハンガーイラスト (ボトムス)					スカート2型・パンツ2型					
3	1	ハンガーイラスト (ボトムス)					ペン入れ					
4	1	ハンガーイラスト (トップス)					カットソー・シャツ ペン入れ					
5	1	ハンガーイラスト (トップス)					ジャケット・コート ペン入れ					
6	1	ショップディスプレイ ハンガーイラスト描写					ディスプレイ3ポーズの平面イラスト・レイアウト					
7	1	ショップディスプレイ ハンガーイラスト描写					ディスプレイ3ポーズを平面イラスト					
8	1	ショップディスプレイ ハンガーイラスト描写					ペン入れ・着色					
9	1	ショップディスプレイ ハンガーイラスト描写					イメージボードに仕上げる					
10	1	スタイリングイラスト					8頭身人体バランスなど説明・模写下書き					
11	1	スタイリングイラスト					ペン入れ・着色					
12	1	スタイリングイラスト					ペン入れ・着色					
13	1	My スタイリングイラスト					コーディネート写真をスタイル画におこす					
14	1	My スタイリングイラスト					ペン入れ・着色					
15	1	My スタイリングイラスト					ペン入れ・着色					
留意事項												
ペンなどの道具のクセや特徴を理解しておくことが望ましい。授業外でも、復習や練習をする、繰り返し描いて慣れるという事が大切。												
教材												
プリント配布有												
最終到達目標			学習法				評価方法及び評価割合					
ハンガーイラストとスタイル画が描ける様になる。			講義 課題作成				課題物/期限遵守		90%			
							取組姿勢		10%			

学科名	ファッションビジネス学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期	○	後期	
講座コード	授業科目名							授業時間数		単位数		
B110	西洋服装史							15		1		
担当教員	筒井 直子				科目区分	講義	○	演習		実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○				西洋服飾の研究機関にて学芸員として20年以上勤務。その知識と経験をもとに、西洋服装の歴史並びに実物の詳細を解説する							
講義目的												
西洋服装の基礎知識を学び、時代地域、社会、芸術との関わりを知る。												
授業内容												
古代から現代までの西洋の服飾について、絵画、写真、雑誌、映画などを参照しながら歴史をたどる。その中で基本的な事象や用語を踏まえつつ、衣服自体の構造や構成についても言及していく。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容				学習課題						
1	1	イントロダクション				歴史衣装を学ぶことの意義とその活用について						
2	1	古代				古代メソポタミア～古代ローマの服装を理解する						
3	1	中世				中世の服装の変遷を理解する						
4	1	16世紀				スペイン、イギリスを中心とする服装の特徴を理解する						
5	1	17世紀				オランダを中心とする服装の特徴を理解する						
6	1	18世紀①				フランスの社会構造と服装の関連を理解する						
7	1	18世紀②				フランス宮廷における服装の実物遺品の詳細を学ぶ						
8	1	19世紀①				市民社会の社会構造と服装の関連を理解する						
9	1	19世紀②				ファッション産業に関する諸事情について理解する						
10	1	19世紀③				19世紀の服装の実物遺品の詳細を学ぶ						
11	1	下着の歴史				主に18世紀から19世紀の下着の種口と構造を学ぶ						
12	1	20世紀前期				デザイナーの活躍と社会的背景について理解する						
13	1	20世紀中期				オートクチュール全盛期の服装について学ぶ						
14	1	20世紀後期				ブレタポルテが牽引する服装について学ぶ						
15	1	現代とこれまでの総括				歴史を振り返りその活かし方を学ぶ						
留意事項												
授業の中で紹介するサイトや書籍、映画等に出来る限り目を通す事												
教材												
ポータル PDF を添付(深井晃子監修『世界服飾史』(美術出版社)や筒井直子監修『服をめぐる』など)												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
服装の時代的な変遷を理解し、その社会や時代背景を関連付ける。また、その知識をデザインやコーディネートに反映する				授業動画を繰り返し視聴し、用語や事象を復習する。また、西洋絵画や文化に関する書籍や展覧会に触れる事でより理解を深めることができる				提出物		100%		

学科名	ファッションビジネス学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期	○	後期	
講座コード	授業科目名							授業時間数			単位数	
B111	フィッティングスキル							15			1	
担当教員	大橋 治子				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○ 教員歴42年間を縫製、パターンメイキングの指導に従事。その経験を活かし専門知識技術を指導。											
講義目的												
ファッションアドバイザーとして必要なお直しの知識、技術を学ぶ。その為に衣服の構造を知り、お客様にあった美しいシルエットの提案ができるようになる。												
授業内容												
①ミシン、ロックミシンの使い方 ②衣服の立体的な構成 ③お直しの知識、技術 ④古着リメイク												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容				学習課題						
1	1	基礎				縫製、製図用具の説明・人体の部位名称・原型について						
2	1	ミシン、ロックミシンについて				ミシン、ロックミシンの構造、糸掛け、縫い方						
3	1	見頃原型について				見頃パターンの名称・シーチング組み立て						
4	1	スカート原型について				スカートパターンの名称・シーチング組み立て						
5	1	パンツ原型について				パンツパターンの名称・シーチング組み立て						
6	1	補正について				お直しの専門用語、丈、幅出し詰めの方法						
7	1	既製服フィッティングについて				スカート、パンツ、上着等丈直しのピンの打ち方・採寸方法						
8	1	部分縫い				パンツの裾上げ方法、ボタン付け						
9	1	古着のリメイク①				アイデア考案						
10	1	古着のリメイク②				縫製①						
11	1	古着のリメイク③				縫製②						
12	1	古着のリメイク④				縫製③						
13	1	古着のリメイク⑤				縫製④						
14	1	古着のリメイク⑥				縫製⑤						
15	1	まとめ				まとめと総復習						
留意事項												
欠席などで提出物が遅れた学生は、次回授業までに提出すること												
教材												
お直しのプリント												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
衣服の構造を知ることが第一。お直しの知識技術を習得し、お客様に合った美しいシルエットの提案ができるようになる。				課題作成				課題提出		80%		
								取組姿勢		20%		

学科名	ファッションビジネス学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期	○	後期	
講座コード	授業科目名							授業時間数		単位数		
B112	デジタルスキル I							15		1		
担当教員	西田 由美子				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による 授業科目		○	企業向けに集客や売上アップを目指すため SNS 運営のコンサルティングを行う。									
講義目的												
コンピューターの基礎知識を身につけ、活用できる様になる。												
授業内容												
様々なアプリケーションを使いながら、コンピューターの基礎知識を学んで行くとともに、インターネットやサーバー、クラウドといったコンピューターを取り巻く環境や周辺機器の知識を身につける												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	1	コンピューターの基礎知識①					コンピューターでできること					
2	1	コンピューターの基礎知識②					コンピューターと周辺環境及び機器の理解					
3	1	コンピューターの基礎知識③					データとは何か。ファイル・フォルダ・ディレクトリ					
4	1	ビジネスアプリケーション概要										
5	1	定番ビジネスアプリ（オフィス）①					ワードでビジネス文書をつくってみる。					
6	1	定番ビジネスアプリ（オフィス）②					見積書・請求書・領収書					
7	1	定番ビジネスアプリ（オフィス）③					表計算とグラフ					
8	1	Apple のビジネスアプリ					アプリの紹介とデータの互換性について					
9	1	デジタルデータの基礎知識					PDF ファイルの活用法 ZIP データと PPAP					
10	1	インターネットと WEB アプリケーション					クラウドベースのアプリケーションの特徴					
11	1	Chrome Book①					Chrome Book・Google APP 概要					
12	1	Chrome Book②					Google スライドでプレゼンデータを作ってみる①					
13	1	Chrome Book③					Google スライドでプレゼンデータを作ってみる②					
14	2	テスト										
留意事項												
興味をもって課題練習に取り組み、操作を覚えられるまで繰り返し実践すること。遅刻・欠席（公欠の場合も）等で授業に遅れた時は、次の授業時間までに、必ず自習しておくこと。												
教材												
最終到達目標												
学習法												
評価方法及び評価割合												
コンピューターとその環境の知識を身につけるとともに、アプリケーションの特徴を理解し活用できる。		Apple コンピューターを使用した実技		小課題				50%				
				テスト				50%				

学科名	ファッションビジネス学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名							授業時間数		単位数		
B112	デジタルスキル I							15		1		
担当教員	西田 由美子				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目		○	企業向けに集客や売上アップを目指すため SNS 運営のコンサルティングを行う。									
講義目的												
コンピューターの基礎知識を身につけ、活用できるようになる。												
授業内容												
様々なアプリケーションを使いながら、コンピューターの基礎知識を学んで行くとともに、インターネットやサーバー、クラウドといったコンピューターを取り巻く環境や周辺機器の知識を身につける												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	1	その他の WEB アプリ (Canva)					canva 概要 canva でできること					
2	1	その他の WEB アプリ (Canva)					canva でプレゼンデータを作ってみる①					
3	1	その他の WEB アプリ (Canva)					canva でプレゼンデータを作ってみる②					
4	1	クリエイター向けアプリケーション概要										
5	1	DTP					印刷のワークフロー イラストレーターの基礎知識					
6	1	DTP					ポストカード作成①					
7	1	DTP					ポストカード作成②					
8	1	画像データと写真					photoshop と画像解像度					
9	1	画像データと写真					フォトレタッチ					
10	1	映像編集					映像の基礎知識					
11	1	デジタル時代の著作権										
12	1	まとめ①					ビジネスアプリ					
13	1	まとめ②					クリエイターアプリ					
14	2	テスト										
留意事項												
興味をもって課題練習に取り組み、操作を覚えられるまで繰り返し実践すること。遅刻・欠席(公欠の場合も)等で授業に遅れた時は、次の授業時間までに、必ず自習しておくこと。												
教材												
最終到達目標												
学習法												
評価方法及び評価割合												
コンピューターとその環境の知識を身につけるとともに、アプリケーションの特徴を理解し活用できる。		Apple コンピューターを使用した実技		小課題				50%				
				テスト				50%				

学科名	ファッションビジネス学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名							授業時間数		単位数		
	コミュニケーションスキル							30		2		
担当教員	益岡 流南				科目区分	講義	○	演習		実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	アパレル SPA 企業で販売員としてキャリアをスタート。ヤングレディースアパレルの 2 店舗で店長を務めた。授業では販売から品揃え、レイアウトまでアパレルショップの運営全般と職務姿勢などを幅広く指導する										
講義目的												
アパレル業界の就職活動に向けた準備の第一歩として、長期で企業から割り当てられた配属先にて勤務をすることにより、職務の理解を深め、即戦力として社会に出られる人材になる。												
授業内容												
インターンシップでは、セレクトショップやワンブランドでスタッフとして、現場での就業を実際に経験する。具体的な目標を持って、自ら考え、行動する姿勢を持って日々の業務にあたり、振り返りと改善見直しを徹底し実習期間を過ごすこと。実習の認定としては、企業からの評価及び参加状況、報告物の作成・提出によって総合的に判断される。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	1	就職ガイダンス					前年・今年の就職状況、これからの就職活動について					
2	1	インターンシップ					インターンシップ受け入れ企業説明、スケジュール					
3	1	履歴書について①					履歴書の書き方説明、履歴書記入					
4	1	履歴書について②					履歴書記入					
5	1	履歴書について③					履歴書修正、履歴書用写真撮影					
6	1	面接練習①					面接時の注意事項					
7	1	面接練習②					面接練習（グループ面接）					
8	2	実習①					実習先にて各自配属先での業務に従事					
9	2	実習②					実習先にて各自配属先での業務に従事					
10	2	実習③					実習先にて各自配属先での業務に従事					
11	2	実習④					実習先にて各自配属先での業務に従事					
12	2	実習⑤					実習先にて各自配属先での業務に従事					
13	2	実習⑥					実習先にて各自配属先での業務に従事					
14	2	実習⑦					実習先にて各自配属先での業務に従事					
15	1	振り返り					報告書を作成、提出					
留意事項												
企業・団体からの多大な協力によって実現しているカリキュラムであり、大阪文化服装学院を代表して参加するという意識を持って臨むこと（基本姿勢・基本動作の徹底）。正当な理由がない無断欠席・遅刻などの理由で実習継続が難しいと判断された場合は、参加を取り消すことがあるので、十分に注意すること。												
教材												
教員より配布する。												
最終到達目標					学習法				評価方法及び評価割合			
実習先において、与えられた課題について、スタッフからの指導を受けながら達成できるようになる。					講義 実習				実習先評価		60%	
									課題提出		40%	

学科名	ファッションビジネス学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名							授業時間数		単位数		
B116	就職対策 I							15		1		
担当教員	高柿 幸江				科目区分	講義	○	演習		実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	大手アパレル企業で店長を経て、バイヤー・小物企画を歴任。国内外の展示会にて、商品の仕入調達や売場運営管理に精通。その後、新店舗内装やVMD・SVに従事する。授業では、販売員の業務内容や数値管理、商品仕入計画などの指導を行う。										
講義目的												
アパレル業界の就職活動に向けた準備の第一歩として、長期で企業から割り当てられた配属先にて勤務をすることにより、職務の理解を深め、即戦力として社会に出られる人材になる。												
授業内容												
インターンシップでは、セレクトショップやワンプランドでスタッフとして、現場での就業を実際に経験する。具体的な目標を持って、自ら考え、行動する姿勢を持って日々の業務にあたり、振り返りと改善見直しを徹底し実習期間を過ごすこと。実習の認定としては、企業からの評価及び参加状況、報告物の作成・提出によって総合的に判断される。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容				学習課題						
1	1	就職ガイダンス				前年・今年の就職状況、これからの就職活動について						
2	1	インターンシップ				インターンシップ受け入れ企業説明、スケジュール						
3	1	履歴書について①				履歴書の書き方説明、履歴書記入						
4	1	履歴書について②				履歴書記入						
5	1	履歴書について③				履歴書修正、履歴書用写真撮影						
6	1	面接練習①				面接時の注意事項						
7	1	面接練習②				面接練習（グループ面接）						
8	2	実習①				実習先にて各自配属先での業務に従事						
9	2	実習②				実習先にて各自配属先での業務に従事						
10	2	実習③				実習先にて各自配属先での業務に従事						
11	2	実習④				実習先にて各自配属先での業務に従事						
12	2	実習⑤				実習先にて各自配属先での業務に従事						
13	2	実習⑥				実習先にて各自配属先での業務に従事						
14	2	実習⑦				実習先にて各自配属先での業務に従事						
15	1	振り返り				報告書を作成、提出						
留意事項												
企業・団体からの多大な協力によって実現しているカリキュラムであり、大阪文化服装学院を代表して参加するという意識を持って臨むこと（基本姿勢・基本動作の徹底）。正当な理由がない無断欠席・遅刻などの理由で実習継続が難しいと判断された場合は、参加を取り消すことがあるので、十分に注意すること。												
教材												
教員より配布する。												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
実習先において、与えられた課題について、スタッフからの指導を受けながら達成できるようになる。				講義 実習				実習先評価		60%		
								課題提出		40%		